

建築士が撮った！

歴史を伝える山口の近代建築写真展

日時：2020年1月8日(水) 10:00～1/13日(月)16:00

場所：山口市菜香亭2階ギャラリー

主催：山口近代建築研究会

企画・撮影：原田正彦（山口近代建築研究会代表/一級建築士）

◇ 主催者あいさつ

歴史を今に伝える建物と言え、何も神社仏閣だけではありません。明治以降の西洋文化の影響を受けて建設された「近代建築」も、地域の歴史を雄弁に語ってくれます。

建築士である私は、自身の仕事や趣味の一環で各地の街を訪ね歩き、近代建築の写真を撮り続けてきました。この度、菜香亭さんのご厚意により、これまで撮り貯めた多くの写真の中から、山口市中心部に残された近代建築をまとめて紹介する機会に恵まれました。

私はプロの写真家ではありませんので、一枚一枚は芸術的なものではありません。ただ、建築の持つ歴史と文化を後世に伝えていくという使命感のもと、被写体としての建築の特徴や魅力が十分伝わる様に、「建築愛」を持って撮影してきたつもりです。

近代建築は、一つ一つが地域のシンボルであり、独自の歴史を積み重ねながらその役割を果たしてきました。現状を見ると、役目を終えたもの、改修され存続しているもの、文化財の指定を受けているもの、そうでないもの等、様々ですが、いずれもその存在感は変わらず、今後の活用次第で、新たなまちづくりの拠点ともなるポテンシャルを秘めています。

この展示で、残された近代建築の存在と成り立ちをお知りになり、現在の有様に目を向けられ、更に将来への再生について考えていただければ、幸いです。(原田正彦)



▲平成期に移設された菜香亭は、明治・大正・昭和と増築された近代和風建築

◇ 山口近代建築研究会&NPO 法人まちのよそおいネットワークについて

私たちは、『建築から街の歴史と未来が見えてくる』を合言葉に、対象地域を山口県内全域として、近代建築・町並み・景観を巡る県内各地の様々な課題に取り組んでいます。子どもも大人も、民間も行政も、共に楽しく進めるまちづくりが目標です。



▲県庁舎創建100周年記念事業より2016.10

これまで、建築マップの策定、建築ウォッチング、セミナー、講演会開催等のイベントを、山口市、下関市、宇部市、岩国市、光市等県内各地で行ってきました。

会を結成して既に30年近く。現在NPO正会員31名、うち近代建築研究会会員19名です。2018年度には、(一財)日本建築学会中国支部の「中国建築文化賞(文化活動部門)」を受賞しました。

詳しくは、PC、スマホ「山口近代建築研究会」で検索！

◇ 私と近代建築写真について

私の愛機は、一眼レフデジカメ Canon EOS-70D。通常利用しているレンズは16-300mm F/3.5-6.3で、これ1本で広角から望遠まで、つまり外観全体から高い所の細部意匠まで撮れるので、とても便利です。

保存形式は、*.raw、*.jpg。PC上のDigital Photo ProfessionalやGIMPを使用して編集、加工しています。露出補正、トリミングはもちろん、建築外観のひずみを修正するあおり補正もよく使います。

また、撮影した画像は、今回のような写真展示の他、講演用PowerPointへの画像挿入、近代建築関係の書籍原稿、研究会のホームページ、自身のFacebookへのアップ、年賀状など、多方面で有効に活用しています。



▲世界遺産の近代建築・サヴォア邸(パリ郊外)で2019.05

◆原田正彦プロフィール：1954年吉敷郡小郡町生まれ／山口高校、京都大学大学院建築学専攻卒／山口県庁退職後、現在(一財)山口県建築住宅センター勤務／NPO 法人まちのよそおいネットワーク理事長、山口近代建築研究会代表、(一財)日本建築学会会員、(一社)山口県建築士会会員